



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エフ・ジェー・ネクスト
 コード番号 8935 URL http://www.fjnext.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 肥田 幸春
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 兼 業務部長 (氏名) 山本 辰美 TEL 03-6733-7711
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	17,863	13.5	1,574	△5.4	1,564	△4.6	940	△35.7
26年3月期第2四半期	15,732	6.1	1,663	△11.2	1,639	△10.6	1,463	42.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 950百万円 (△34.8%) 26年3月期第2四半期 1,457百万円 (41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	27.53	—
26年3月期第2四半期	47.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	41,324	25,934	62.8	763.34
26年3月期	39,827	25,534	64.1	738.52

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 25,934百万円 26年3月期 25,534百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	5.00	—	8.00	13.00
27年3月期	—	6.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成26年3月期期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 東証一部指定記念配当3円00銭

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	3.7	4,250	△28.4	4,200	△28.8	2,520	△35.1	73.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	34,646,500株	26年3月期	34,646,500株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	670,857株	26年3月期	70,857株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	34,164,969株	26年3月期2Q	31,125,700株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動等により、一部に弱さがみられるものの、政府による各種政策の効果を背景に、緩やかな景気回復基調が継続しております。

不動産業界におきましては、消費税増税前の駆け込み需要の反動や建築費の上昇等を背景にデベロッパー各社が着工時期を見合わせたことにより、平成26年度上半期（4～9月）の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は、前年同期比32.1%減の1万9,944戸（株式会社不動産経済研究所調べ）と大幅に減少しました。一方、購入需要については、消費税増税後も都心部のマンションを中心に底堅い状況が続いております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、単身者を中心とした首都圏の賃貸需要は底堅く、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、堅調な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用としての多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」及びファミリーマンションの自社ブランド「ガーラ・レジデンスシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売買の拡充にも積極的に取り組み、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高178億63百万円（前年同四半期比13.5%増）、営業利益15億74百万円（前年同四半期比5.4%減）、経常利益15億64百万円（前年同四半期比4.6%減）、四半期純利益9億40百万円（前年同四半期比35.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」、「ガーラ・レジデンスシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション289戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高125億62百万円（608戸）、ファミリーマンション売上高10億9百万円（26戸）、その他収入27億34百万円となり、不動産開発事業の合計売上高163億5百万円（前年同四半期比15.4%増）、セグメント利益11億94百万円（前年同四半期比8.2%減）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、売上高8億69百万円（前年同四半期比2.2%増）、セグメント利益3億23百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

（建設事業）

建設事業は、地道な営業活動を続けた結果、売上高4億46百万円（前年同四半期比17.5%減）、セグメント利益69百万円（前年同四半期比265.3%増）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、集客が順調に推移し、売上高2億41百万円（前年同四半期比12.6%増）、セグメント利益5百万円（前年同四半期は2百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は387億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億41百万円増加いたしました。これは主に、仕掛販売用不動産が25億58百万円、販売用不動産が20億46百万円、受取手形及び営業未収入金が4億48百万円増加した一方、現金及び預金が35億円減少したことによるものであります。固定資産は25億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億44百万円減少いたしました。これは主に、投資その他の資産が1億7百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は413億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ14億96百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は87億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億84百万円増加いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が23億81百万円、賞与引当金が1億23百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が9億3百万円、未払法人税等が6億42百万円減少したことによるものであります。固定負債は66億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億11百万円増加いたしました。これは主に、長期借入金が93百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は153億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億96百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、259億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億円増加いたしました。主な増加は四半期純利益9億40百万円であり、減少は剰余金の配当2億76百万円、自己株式の取得2億74百万円であります。

この結果、自己資本比率は62.8%（前連結会計年度末は64.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ30億90百万円減少し、75億32百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により支出した資金は54億15百万円（前年同四半期は5億30百万円の収入）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益15億64百万円であり、主な支出は、たな卸資産の増加額46億12百万円、法人税等の支払額11億95百万円、仕入債務の減少額9億3百万円、売上債権の増加額4億48百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は4億1百万円（前年同四半期は8億26百万円の支出）となりました。主な収入は、定期預金の減少額4億11百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により獲得した資金は19億23百万円（前年同四半期は6億13百万円の支出）となりました。主な収入は、事業用地の購入資金対応のための長期借入れによる収入38億円であり、主な支出は、長期借入金の返済による支出13億26百万円、配当金の支払額2億75百万円、自己株式の取得による支出2億74百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年9月25日発表の予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,850	10,349
受取手形及び営業未収入金	1,466	1,914
有価証券	3	3
販売用不動産	4,642	6,689
仕掛販売用不動産	16,313	18,871
未成工事支出金	11	13
原材料及び貯蔵品	11	10
前渡金	88	111
繰延税金資産	363	369
その他	355	413
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	37,102	38,743
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	925	926
減価償却累計額	△445	△472
建物及び構築物（純額）	480	454
土地	469	479
その他	269	272
減価償却累計額	△199	△209
その他（純額）	70	62
有形固定資産合計	1,020	996
無形固定資産	78	65
投資その他の資産		
投資有価証券	225	229
繰延税金資産	290	220
その他	1,120	1,078
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	1,626	1,518
固定資産合計	2,725	2,580
資産合計	39,827	41,324

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,273	370
1年内返済予定の長期借入金	2,926	5,307
未払金	242	182
未払法人税等	1,147	505
未払消費税等	163	123
預り金	1,495	1,412
賞与引当金	125	249
その他	385	594
流動負債合計	7,760	8,745
固定負債		
長期借入金	3,907	4,000
役員退職慰労引当金	685	705
退職給付に係る負債	255	279
長期預り敷金保証金	1,614	1,590
長期預り金	69	68
その他	0	0
固定負債合計	6,532	6,644
負債合計	14,293	15,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,774	2,774
資本剰余金	3,054	3,054
利益剰余金	19,704	20,368
自己株式	△15	△289
株主資本合計	25,518	25,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	26
その他の包括利益累計額合計	16	26
純資産合計	25,534	25,934
負債純資産合計	39,827	41,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	15,732	17,863
売上原価	11,356	13,348
売上総利益	4,375	4,515
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	207	222
給料手当及び賞与	824	912
賞与引当金繰入額	216	242
退職給付費用	29	26
役員退職慰労引当金繰入額	18	20
その他	1,414	1,517
販売費及び一般管理費合計	2,711	2,941
営業利益	1,663	1,574
営業外収益		
受取利息	5	2
違約金収入	4	18
助成金収入	1	2
その他	2	3
営業外収益合計	14	26
営業外費用		
支払利息	32	34
その他	5	2
営業外費用合計	38	36
経常利益	1,639	1,564
税金等調整前四半期純利益	1,639	1,564
法人税、住民税及び事業税	331	565
法人税等調整額	△154	58
法人税等合計	176	623
少数株主損益調整前四半期純利益	1,463	940
四半期純利益	1,463	940

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,463	940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	10
その他の包括利益合計	△5	10
四半期包括利益	1,457	950
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,457	950
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,639	1,564
減価償却費	49	50
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	98	123
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	24
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	19	20
受取利息及び受取配当金	△6	△3
支払利息	32	34
売上債権の増減額 (△は増加)	△343	△448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	175	△4,612
仕入債務の増減額 (△は減少)	28	△903
前渡金の増減額 (△は増加)	△71	△22
前受金の増減額 (△は減少)	114	145
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△20	△24
未払消費税等の増減額 (△は減少)	12	△52
その他	△138	△83
小計	1,575	△4,188
利息及び配当金の受取額	6	3
利息の支払額	△34	△35
法人税等の支払額	△1,017	△1,195
営業活動によるキャッシュ・フロー	530	△5,415
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△28	△10
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
定期預金の増減額 (△は増加)	△790	411
その他	△5	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△826	401
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,337	3,800
長期借入金の返済による支出	△1,808	△1,326
リース債務の返済による支出	△2	△0
自己株式の取得による支出	—	△274
配当金の支払額	△139	△275
財務活動によるキャッシュ・フロー	△613	1,923
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△909	△3,090
現金及び現金同等物の期首残高	8,130	10,622
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,221	7,532

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,124	851	541	214	15,732	—	15,732
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	162	332	4	502	△502	—
計	14,128	1,013	874	218	16,234	△502	15,732
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	1,300	326	18	△2	1,643	20	1,663

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額20百万円には、セグメント間取引消去15百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額5百万円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産 開発事業	不動産 管理事業	建設事業	旅館事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,305	869	446	241	17,863	—	17,863
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	175	696	5	882	△882	—
計	16,310	1,045	1,143	247	18,746	△882	17,863
セグメント利益	1,194	323	69	5	1,591	△17	1,574

(注) 1. セグメント利益の調整額△17百万円には、セグメント間取引消去15百万円、
たな卸資産及び固定資産の調整額△33百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。